

信州大学工学部との包括的連携協定における 2024 年度の支援活動

～サステナブル社会の実現に向けて～

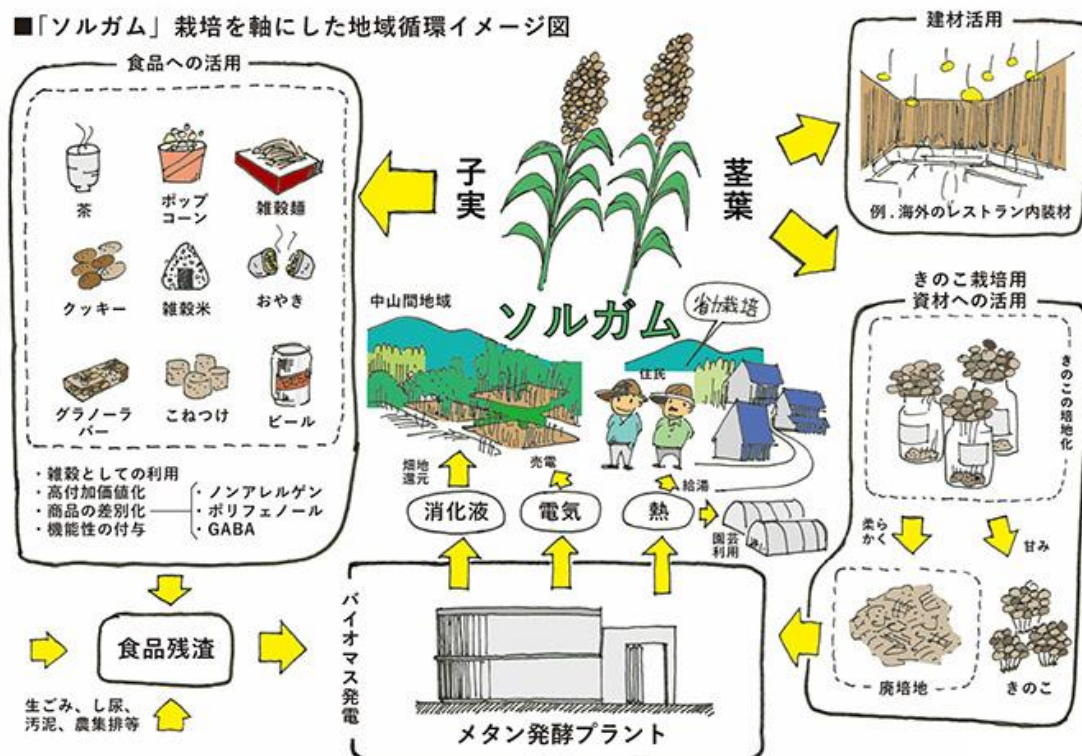
JX 金属商事株式会社（社長：六信 厚、以下「当社」）は、サステナブルな社会の実現に貢献することを経営の重要課題の 1 つと位置づけ、2023 年 3 月に信州大学工学部と包括的連携に関する協定を締結しました^{注1}。

- ^{注1}協定におけるテーマとして、① ソルガム栽培による耕作放棄地の再生及び地域経済の活性化、② ソルガム茎葉及び農産物未利用物のバイオ燃料化（食用部分は除く）、③ ソルガムの栽培による CO2 削減及び固定化などを想定しています。

本包括的連携協定の一環として、「ソルガムを軸としたカスケード型脱炭素社会の実現」を目指した活動を推進しており、2024 年度は別紙のとりの活動を行いました。

2025 年度は、「大規模栽培に向けたソルガム活用方法の拡大、栽培機械化の支援」「複合材料としての利用先検討」「茎葉利用の多用途化推進」「バイオマス発電所への燃料としての活用」「栽培～燃料使用に至るサプライチェーンの構築」などを支援してまいります。

■「ソルガム」栽培を軸にした地域循環イメージ図



提供：信州大学

本件に関するお問い合わせ先

JX 金属商事株式会社 経営企画部

電話番号 03-5368-3150

以 上

2024 年度の当社の支援・参画活動

研究上の課題	当社の支援活動
地域経済活性化	ソルガム栽培の宣伝、NPO 連携の検討
茎葉の利用拡大	直接バイオ燃料化に向けた連携先情報収集 エタノール、繊維としての利用先を検討
耕作地拡大	JX 金属グループ内での利用検討

上記の他、信州大学、信州そるがむで地域を元気にする会などが主催となってソルガムの認知向上活動を展開し、当社はその活動に賛同、参加しました。

2024 年 5 月 19 日 播種会（地域交流会） 於 長野県長野市七二会 大安寺

呼びかけに応じた農家の方など約 70 名が、播種会に参加、20 アールに、既存種、新種を作付けしました。会場には、テレビ局 2 局が取材に訪れていました。



信州大学天野教授による挨拶



播種説明



溝に沿って播種を実行（子供も参加する手まき）、他に簡易機械植えあり



5m 級大型品種



1.5～2m 小型品種

既存白種 5 アール、既存赤種 5 アール、新種もち系 10 アールを作付けしており、その刈り入れ作業をおこないました。

國井准教授よりバイオ燃料企業向け原料サンプルを受け取りました。

また、茎に糖を貯める品種は、搾りで 40%のエタノールが取れ、60%が搾りかすとなる、10 アールの作付けで約 10 トン取れる試算となる、との新たなご提案を受けました。

2024 年 10 月 25 日、26 日 産業フェア in 信州 於 長野市ビッグハット

「信州そるがむで地域を元気にする会」によるソルガムを軸とした脱炭素に向けた取組みの紹介、関連商品の販売などに協力しました。

2025 年 1 月 29 日 2024 年度成果報告会・ソルガムマルシェ 於 シャトラーゼホテル長野

開会挨拶 信州大学工学部 天野良彦教授

挨拶 長野市長からのビデオメッセージ

基調講演 「健康長寿に貢献する食の機能性をさらにアップする 信州大学 天野良彦教授
ーソルガム子実の魅力と品種特性」

パネルディスカッション：地域活性化のためにひとり一人が「今」できること

ファシリテーター：武田徹（ラジオパーソナリティー）

パネリスト：横山タカ子（料理研究家）、天野良彦（信州大学工学部教授）、田子美津子（ミールケア専務）、榎下剛（長野サンヨーフーズ）、早川航紀（信州産ソルガム普及促進協会）

閉会挨拶 信州大学工学部 水野正浩准教授



天野教授開会挨拶



長野市長ビデオメッセージ



パネルディスカッション

以上